

# 三田盆地に分布する神戸層群の年代を調べる： 細川層の凝灰岩調査

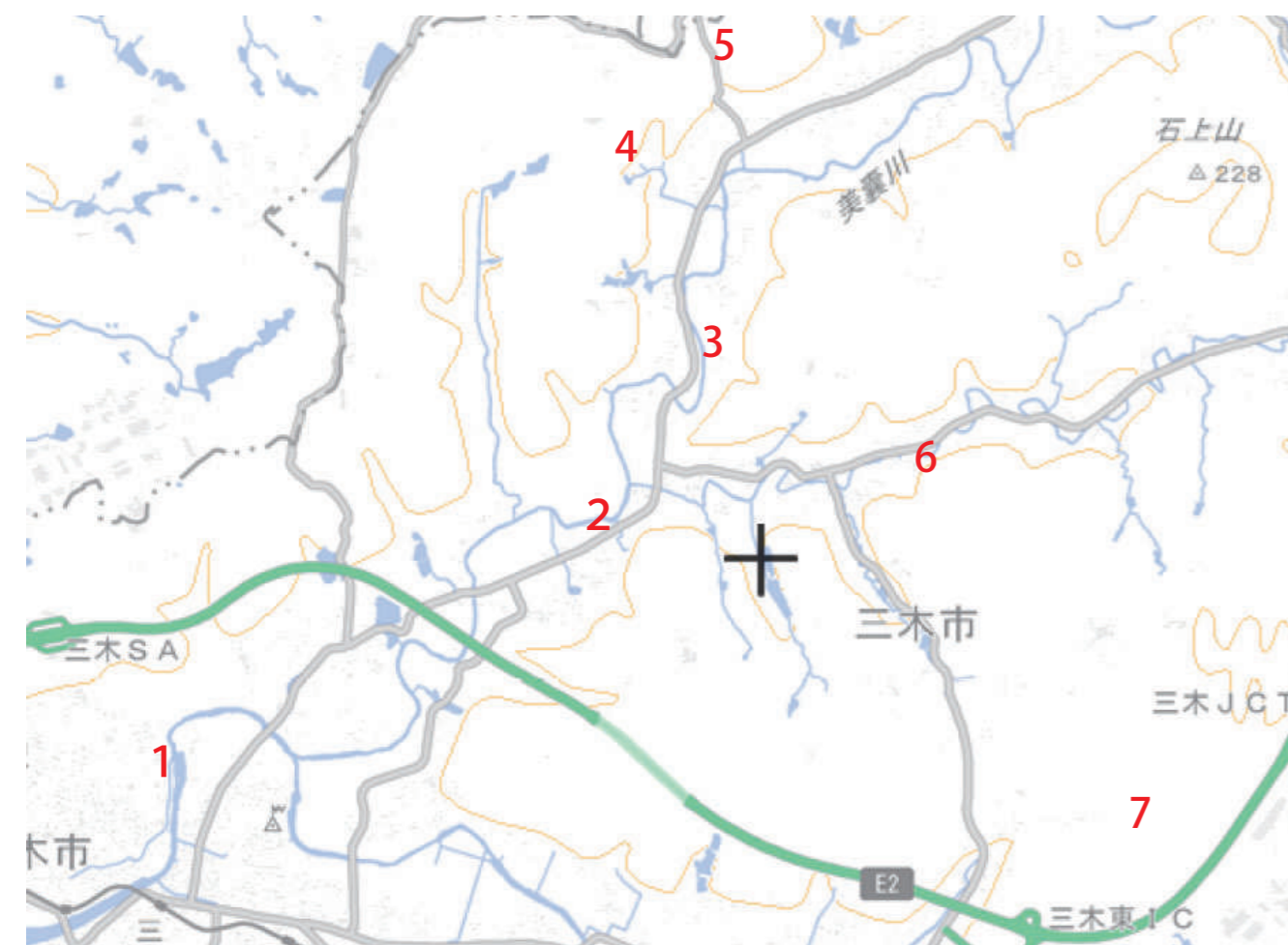


自然・環境評価研究部 地球科学研究グループ

半田 久美子

神戸層群の年代は、これまでの年代測定や化石の研究から、アミノドン類が産出した吉川層上久米凝灰岩の層準が3800万年前頃であることがわかってきました。現在最下部と最上部の年代を明らかにするために調査を行っており、最下部については三田盆地の下部層である三田層の東条湖凝灰岩で年代測定を実施しました。

今年度は最上部の年代を明らかにするために、上部層にあたる細川層の凝灰岩を調べています。これまでの研究から石上山凝灰岩、法輪寺凝灰岩（＝戸田凝灰岩？）、久留美凝灰岩が知られており、その上下関係を調査しています。



細川層の凝灰岩調査地点  
数字は写真に対応



1. 美嚢川 久留美大橋北側



2. 美嚢川 細川町豊地 大日神社北側



3. 美嚢川 細川町金屋 大日神社西側



4. 細川町高篠



5. 加東市大畑 石上山凝灰岩



6. 小川川 細川町垂穂



7. 伽耶院 志染町大谷